

BXハイパーガセット・II/PZ BXハイパーガセット・II 取扱説明書

※ご使用前に必ずお読みください。

用途

- 壁倍率2倍用の筋かい(90・105×45)、または壁倍率3倍用の筋かい(90・105×90)を容易かつ強固に接合する金物です。

特長

- 予備孔を除く全ての孔にビスを打つため、打ち忘れや打ち間違いを防ぐことができます。
- 仮止めの爪がついているため、柱に金物を安定した状態で施工できます。
- 土台・横架材から離れた位置に接合できるため、かど金物との干渉を回避できます。
- 内付けでも外付けでも使用可能です。
- 右勝手・左勝手がなく、とても便利です。
- 高耐食性溶融めっき鋼板とプロイズの2種類あります。

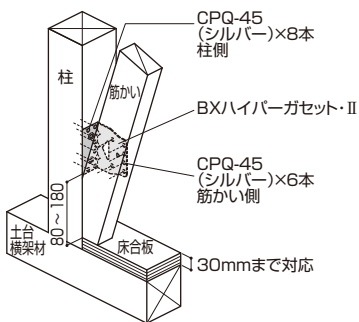
付属品

- 専用ビス CPQ-45(シルバー)×14本

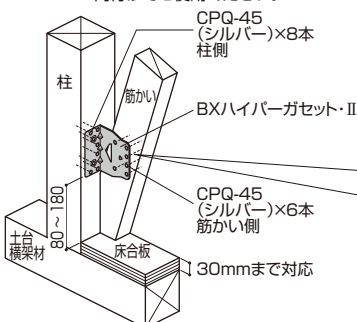
施工方法

- ① 筋かいと土台を面一に合わせ、本体を土台・横架材の面から80~180mm離れた位置に合わせます。(床合板の場合は床合板の面から80~180mm)
- ② 柱側の切り起こし爪で仮止めし、付属のビスで柱と筋かいを接合します。

内付け



外付け



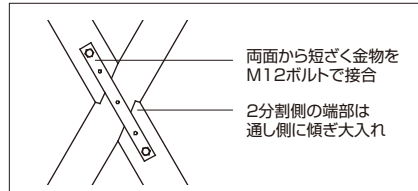
建設省告示第1460号第1号
[二][木]対応
ハウスプラス確認検査(株)性能試験

壁倍率	1.5倍	×
	2倍	○
	3倍	○
内・外付け	内付け	○
	外付け*	○
床合板	合板なし	○
	合板あり (30mmまで)	○

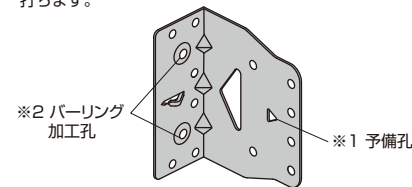
※3倍用で使用の際は納まりにご注意ください。

壁倍率3倍用の筋かい(90・105×90)に接合する場合の筋かい交差部の補強方法

■筋かい交差部の仕様図 告示第1460号第1号[木]



- ※1 規定の金物取付け高さで丸孔にビスが打てない場合、予備孔にビスを打ちます。
- ※2 パーリング加工がされている丸孔にも必ずビスを打ちます。



注意事項

- 本体の取付け高さにご注意ください。
- 原則、筋かい側のビスは丸孔6箇所に打ちます。やむを得ず丸孔に打てない場合、予備孔をご使用いただき、予備孔を含め6箇所には必ずビスを打ってください。
- 柱側のビスは丸孔8箇所に打ちます。パーリング加工がされている丸孔にも必ずビスを打ち込んでください。
- 壁倍率3倍用の筋かい(90・105×90)に接合する場合の筋かい交差部の補強方法は、「筋かい交差部の仕様図」を参照してください。
- 壁倍率3倍用の筋かい(90・105×90)に接合する場合、外付けで取付けると金物本体が柱面からはみ出してしまうため、内付けでご使用ください。
- 必ず付属の専用ビスで接合してください。
- ※ビスの本数を減らしたり、専用ビス以外の接合具を使用して取付けた場合、所要の耐力が得られませんのでご注意ください。
- ※締めすぎに注意!!ビス頭を金物に接するまでねじ込んだ後、必要以上のトルク(ねじ込み)を加えないでください。
- ビス接合用の四角ビット(#3)は別売品です。
- ビスをまっすぐ打ち込むために125mm以上のビットの使用をお勧めします。
- 本製品とは別に柱頭・柱脚の仕口に必要な金物を取付けてください。
- 必ず付属のビスが全て打てるように筋かいをカットしてください。
- ケガに注意!!手袋を着用するなど金物の切断面に注意して作業をしてください。
- ビスを打ち込む際にも、軍手や手袋などをはめ、さらに保護メガネを装着し、怪我のないようにしてください。
- 金物は所定の位置に取り付けてください。
- 金物の干渉に注意しご使用ください。
- 接合・締付け工具類は、適切なものをご使用ください。
- 現場で防錆・防蟻処理他、薬剤を使用する場合は、金物に薬剤が付着しないように注意してください。金物本体や表面処理が著しく劣化する場合があります。
- 放り投げたりハンマーで叩く等、乱暴に取扱うと破損や変形する恐れがあります。
- 目的用途以外には使用しないでください。

BXカネシン株式会社

営業本部 / 〒124-0024 東京都葛飾区新小岩1-53-10 朝日生命新小岩ビル3階 Tel.03-3696-6781 Fax.03-3696-6770
技術的なご相談は / BXカネシンCSセンター Tel.03-5671-1077